



## 2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月11日

上場会社名 グリー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3632 URL http://corp.gree.net/jp/ja/  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 田中 良和  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上級執行役員最高財務責任者 (氏名) 大矢 俊樹 TEL 03-5770-9500  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月11日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年6月期第3四半期の連結業績（2022年7月1日～2023年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	55,320	2.4	7,540	△1.5	7,425	△14.5	4,167	△36.9
2022年6月期第3四半期	54,031	11.4	7,656	△13.4	8,680	△5.2	6,606	△29.2

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 351百万円 (△94.0%) 2022年6月期第3四半期 5,846百万円 (△56.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	24.24	23.99
2022年6月期第3四半期	34.86	34.52

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	120,039	87,170	72.2
2022年6月期	116,730	90,930	77.4

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 86,664百万円 2022年6月期 90,385百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	11.00	11.00
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期（予想）	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2023年6月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 11円00銭

### 3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、業績見通しについて適正かつ合理的な数値の算出が困難であると判断し、連結業績予想の開示を見合わせることに致しました。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 、 除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年6月期3Q	179,749,700株	2022年6月期	179,749,700株
② 期末自己株式数	2023年6月期3Q	9,121,903株	2022年6月期	6,518,365株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年6月期3Q	171,921,455株	2022年6月期3Q	189,498,578株

(注) 自己株式数については、株式付与E S O P信託口及び役員報酬B I P信託口が所有する当社株式 (2023年6月期第3四半期: 8,702,676株、2022年6月期: 5,967,838株) を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループはインターネット・エンタメ事業、投資・インキュベーション事業の各事業において、積極的な投資に取り組んでまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループ業績は、売上高55,320百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益7,540百万円（同1.5%減）、経常利益7,425百万円（同14.5%減）となりました。また、特別損失として投資有価証券評価損620百万円を計上したこと等により親会社株主に帰属する四半期純利益4,167百万円（同36.9%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### ①インターネット・エンタメ事業

主力とするゲーム・アニメ領域においては、既存スマートフォン向けアプリゲーム（以下、「アプリゲーム」）の長期運営体制による収益安定化及び海外展開による収益力向上に取り組むとともに、新規アプリゲームの開発を進めてまいりました。メタバース領域においては、バーチャルライブ配信アプリ「REALITY」のコンテンツ拡充及びコミュニケーション機能拡充を進めるとともにグローバル展開を進めてまいりました。また、コマース・DX領域においては、メディア力強化とSaaS機能強化及び企業のDX支援を進めてまいりました。

以上の取り組みにより、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高50,705百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益5,072百万円（同16.9%減）となりました。

#### ②投資・インキュベーション事業

投資・インキュベーション事業においては、インターネット・IT領域を中心に投資するベンチャーキャピタルやスタートアップへの投資に取り組んでまいりました。当社出資ファンドが保有株式を売却したことにより、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,614百万円（前年同期比86.0%増）、営業利益2,467百万円（同59.2%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は120,039百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,309百万円増加致しました。流動資産は102,435百万円（前連結会計年度末比2,231百万円増）となりました。主な増加要因は「現金及び預金」及び「営業投資有価証券」がそれぞれ8,137百万円、5,583百万円減少した一方、「金銭の信託」、「受取手形、売掛金及び契約資産」及び流動資産の「その他」がそれぞれ12,000百万円、2,109百万円、1,577百万円増加したことによるものであります。固定資産は17,604百万円（同1,077百万円増）となりました。主な増加要因は投資その他の資産の「その他」が692百万円減少した一方、「繰延税金資産」及び「投資有価証券」がそれぞれ1,308百万円、267百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては32,869百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,069百万円増加致しました。流動負債は15,985百万円（同10百万円増）となりました。主な増加要因は「未払法人税等」、流動負債の「その他」及び「賞与引当金」がそれぞれ1,176百万円、928百万円、534百万円減少した一方、「未払金」及び「契約負債」がそれぞれ1,494百万円、1,172百万円増加したことによるものであります。固定負債は16,883百万円（同7,058百万円増）となりました。主な増加要因は固定負債の「その他」が641百万円減少した一方、「社債」が7,700百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては87,170百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,760百万円減少致しました。主な減少要因は「利益剰余金」及び「自己株式」がそれぞれ2,259百万円、2,161百万円増加した一方、「その他有価証券評価差額金」が3,783百万円減少したことによるものであります。

企業の安定性を示す自己資本比率は、当第3四半期連結会計期間末は72.2%であります。また、支払い能力を示す流動比率は、当第3四半期連結会計期間末は640.8%となっております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、引き続きモバイルを中心にインターネットを通じコンテンツやサービスの拡充を行うと共に国内外のユーザーの利用拡大、及び収益基盤の確立・強化に取り組んでまいります。

なお、当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しく、新規アプリゲームのリリース等による大きな業績変動が見込まれることから、業績見通しについて適正かつ合理的な数値の算出が困難であると判断し、連結業績予想の開示を見合わせることに致しました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	54,624	46,487
受取手形、売掛金及び契約資産	7,754	9,863
未収入金	1,567	1,829
営業投資有価証券	22,215	16,632
金銭の信託	12,000	24,000
その他	2,044	3,622
貸倒引当金	△3	△0
流動資産合計	100,203	102,435
固定資産		
有形固定資産	2,361	2,549
無形固定資産		
その他	13	7
無形固定資産合計	13	7
投資その他の資産		
投資有価証券	9,493	9,760
繰延税金資産	716	2,024
その他	4,255	3,563
貸倒引当金	△313	△301
投資その他の資産合計	14,151	15,047
固定資産合計	16,526	17,604
資産合計	116,730	120,039
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	6,091	7,586
未払法人税等	2,485	1,308
賞与引当金	850	315
拠点再編費用引当金	16	—
契約負債	4,657	5,830
その他	1,873	944
流動負債合計	15,975	15,985
固定負債		
社債	8,000	15,700
その他	1,824	1,183
固定負債合計	9,824	16,883
負債合計	25,800	32,869

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	2,365	2,365
利益剰余金	86,320	88,579
自己株式	△3,690	△5,852
株主資本合計	85,094	85,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,291	1,507
為替換算調整勘定	—	△35
その他の包括利益累計額合計	5,291	1,472
新株予約権	490	449
非支配株主持分	53	55
純資産合計	90,930	87,170
負債純資産合計	116,730	120,039

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	54,031	55,320
売上原価	22,014	21,987
売上総利益	32,017	33,333
販売費及び一般管理費	24,360	25,793
営業利益	7,656	7,540
営業外収益		
受取利息	10	116
受取配当金	2	54
為替差益	1,095	—
その他	10	10
営業外収益合計	1,118	182
営業外費用		
支払利息	38	91
支払手数料	54	51
為替差損	—	153
その他	1	1
営業外費用合計	94	296
経常利益	8,680	7,425
特別利益		
投資有価証券売却益	9	291
関係会社株式売却益	—	3
違約金収入	754	—
その他	10	24
特別利益合計	775	319
特別損失		
固定資産除却損	11	3
減損損失	36	—
投資有価証券評価損	9	620
その他	—	0
特別損失合計	57	624
税金等調整前四半期純利益	9,397	7,120
法人税等	2,791	2,949
四半期純利益	6,606	4,170
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,606	4,167

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	6,606	4,170
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△484	△3,763
為替換算調整勘定	—	△35
持分法適用会社に対する持分相当額	△275	△20
その他の包括利益合計	△760	△3,819
四半期包括利益	5,846	351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,846	348
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年8月22日開催の取締役会決議に基づき「役員報酬B I P信託」を導入し、第2四半期連結会計期間において自己株式3,000千株を取得しました。この結果、自己株式が2,414百万円増加しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の処理)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下、「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。